



## 2021年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年2月12日

上場会社名 株式会社スペースバリューホールディングス

上場取引所 東

コード番号 1448 URL https://www.svh.co.jp

代表者 (役職名) 代表取締役社長CEO

(氏名) 森岡 直樹

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員コーポレート本部IR広報部長

(氏名) 島田 英樹

TEL 03-5439-6070

四半期報告書提出予定日 2021年2月15日

配当支払開始予定日 -

四半期決算補足説明資料作成の有無：無

四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2021年3月期第3四半期の連結業績（2020年4月1日～2020年12月31日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第3四半期	52,912	△10.7	34	△97.2	326	△77.4	1,074	154.7
2020年3月期第3四半期	59,273	6.9	1,251	△38.5	1,443	△27.1	421	△62.5

(注) 包括利益 2021年3月期第3四半期 2,301百万円 (36.6%) 2020年3月期第3四半期 1,684百万円 (-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第3四半期	30.57	30.53
2020年3月期第3四半期	12.02	11.99

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第3四半期	79,623	26,354	33.0
2020年3月期	79,307	24,558	30.9

(参考) 自己資本 2021年3月期第3四半期 26,278百万円 2020年3月期 24,472百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	-	0.00	-	15.00	15.00
2021年3月期	-	0.00	-	-	-
2021年3月期（予想）	-	-	-	15.00	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2021年3月期の連結業績予想（2020年4月1日～2021年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	80,000	△6.4	2,500	0.7	2,500	△12.4	2,580	158.7	73.39

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

詳細につきましては、添付資料9ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期3Q	35,556,584株	2020年3月期	35,556,584株
② 期末自己株式数	2021年3月期3Q	195,256株	2020年3月期	223,468株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年3月期3Q	35,150,361株	2020年3月期3Q	35,121,094株

(注) 期末自己株式数には、株式給付信託が保有する当社株式（2021年3月期3Q 200,508株、2020年3月期 202,948株）は含めておりません。また、株式給付信託が保有する当社株式を期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております（2021年3月期3Q 201,502株、2020年3月期3Q 206,064株）。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではなく、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注記事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	9
(セグメント情報等) .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響による経済活動の停滞から持ち直しの動きが見られたものの、年末にかけて同ウイルス感染症の再拡大により、依然として先行きの不透明な状況が続きました。また、建設業界におきましては、同ウイルス感染症拡大の影響下において、公共工事は底堅く推移いたしました。民間工事は弱含みにて推移いたしました。

このような状況のなか当社グループは、2020年11月13日付で、当社グループの3ヵ年中期経営計画（2020年度～2022年度）を策定し、新たなスタートを切りました。当社グループの得意な領域である2,000㎡未満の建築市場で、「省力化」「安定したコスト」「短工期」の強みを持つシステム建築のポテンシャルを最大限発揮するべく、グループ戦略を着実に遂行してまいります。また、建築事業の成長を支える土地活用事業、総合建設事業及び駐車場事業のグループ事業間シナジーを創出し、それぞれの事業を成長させるとともに、当社グループの人財のエンゲージメント強化や生産性向上に向けた働き方改革の高度化等を推進し、強固な経営基盤を構築してまいります。

#### (当第3四半期連結累計期間の概況)

当第3四半期連結累計期間における連結業績は、売上高は52,912百万円（前年同期比89.3%、6,361百万円減）となりました。損益面では、売上高が第4四半期に集中する傾向があることから営業利益は34百万円（前年同期比2.8%、1,216百万円減）、経常利益は326百万円（前年同期比22.6%、1,117百万円減）に留まりました。一方、親会社株主に帰属する四半期純利益はホテル開発用地（京都市）の売却益の計上に伴い1,074百万円（前年同期比254.7%、652百万円増）となりました。

各セグメント別の概要は以下のとおりであります。

#### (システム建築事業)

システム建築事業につきましては、販売事業では事務所の建築は堅調に推移いたしました。工場、倉庫、店舗の建築が低調に推移したことから売上高は18,498百万円（前年同期比88.5%、2,414百万円減）に留まりました。レンタル事業では公共施設の大規模改修工事による貢献があったものの、学校施設の耐震化等に伴う仮設校舎の建築が減少したことから売上高は9,439百万円（前年同期比98.6%、136百万円減）に留まりました。

これらの結果、同事業全体の売上高は27,938百万円（前年同期比91.6%、2,550百万円減）となりました。

#### (立体駐車場事業)

立体駐車場事業につきましては、販売事業では主にホテルやテナント等の商業施設関係の立体駐車場の建設が減少したことから、売上高は5,686百万円（前年同期比83.3%、1,136百万円減）に留まりました。また、メンテナンス事業ではリニューアル工事が減少した結果、売上高は1,537百万円（前年同期比82.0%、338百万円減）に留まりました。一方、駐車場運営・管理事業では、国内は2020年12月末において駐車場407件4,326台（2台純減）及び駐輪場77件13,031台（680台純減）、海外は2020年12月末において駐車場313件133,192台（2,700台純増）となった結果、売上高は3,213百万円（前年同期比84.8%、574百万円減）となりました。

これらの結果、同事業全体の売上高は10,437百万円（前年同期比83.6%、2,049百万円減）となりました。

#### (総合建設事業)

総合建設事業につきましては、マンションの大規模修繕工事等が堅調に推移したものの、鉄道工事や宮繕工事が減少したことにより、売上高は13,515百万円（前年同期比96.9%、434百万円減）となりました。

#### (開発事業)

開発事業につきましては、大手コンビニエンスストアやドラッグストアの開発を推進し賃料収入は積み上がりましたが、不動産の売却時期が第4四半期にずれ込んだ影響により、売上高は281百万円（前年同期比22.5%、970百万円減）に留まりました。

#### (ファシリティマネジメント事業)

ファシリティマネジメント事業につきましては、新型コロナウイルス感染症拡大の影響に伴う商業施設の清掃業務が低調に推移したことにより、売上高は739百万円（前年同期比67.5%、355百万円減）に留まりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は、主に受取手形・完成工事未収入金等の減少があったもの、現金預金、未成工事支出金、投資有価証券等の増加により、前連結会計年度末と比べ316百万円増加し、79,623百万円となりました。

負債合計は、主に借入金等の増加があったものの、支払手形・工事未払金等の減少により、前連結会計年度末と比べ1,479百万円減少し、53,269百万円となりました。

純資産合計は、主に親会社株主に帰属する四半期純利益の計上、その他有価証券評価差額金の増加等により、前連結会計年度末と比べ1,795百万円増加し、26,354百万円となりました。

これらの結果、自己資本比率は33.0%（前連結会計年度末は30.9%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2020年10月7日公表の通期連結業績予想を変更しておりません。なお、通期連結業績予想に修正の必要が生じた場合には、速やかに公表いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金預金	4,245	6,674
受取手形・完成工事未収入金	23,584	18,289
レンタル未収入金	6,094	5,836
販売用不動産	2,080	2,366
仕掛販売用不動産	—	410
未成工事支出金	1,625	3,928
その他のたな卸資産	937	978
その他	1,335	1,827
貸倒引当金	△87	△85
流動資産合計	39,815	40,226
固定資産		
有形固定資産		
レンタル用建物(純額)	3,069	2,813
建物・構築物(純額)	5,575	5,271
土地	8,895	8,382
その他(純額)	5,919	5,778
有形固定資産合計	23,459	22,246
無形固定資産		
のれん	2,852	2,744
その他	1,566	1,524
無形固定資産合計	4,418	4,269
投資その他の資産		
投資有価証券	9,500	11,000
その他	2,526	2,284
貸倒引当金	△413	△404
投資その他の資産合計	11,613	12,880
固定資産合計	39,491	39,397
資産合計	79,307	79,623

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形・工事未払金等	17,288	15,340
短期借入金	3,256	8,140
1年内返済予定の長期借入金	3,898	4,038
未払法人税等	750	655
未成工事受入金	1,121	1,911
レンタル前受収益	3,721	3,104
完成工事補償引当金	256	380
賞与引当金	735	356
その他の引当金	129	107
その他	4,073	3,445
流動負債合計	35,230	37,479
固定負債		
長期借入金	15,123	11,411
退職給付に係る負債	1,928	1,936
その他の引当金	78	138
その他	2,388	2,304
固定負債合計	19,519	15,790
負債合計	54,749	53,269
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	7,000	7,000
資本剰余金	2,337	1,774
利益剰余金	13,358	14,433
自己株式	△428	△381
株主資本合計	22,267	22,826
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,504	3,672
為替換算調整勘定	△200	△131
退職給付に係る調整累計額	△99	△89
その他の包括利益累計額合計	2,204	3,451
新株予約権	83	74
非支配株主持分	2	1
純資産合計	24,558	26,354
負債純資産合計	79,307	79,623

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
売上高		
完成工事高	48,444	43,190
レンタル売上高	9,576	9,439
開発事業売上高	1,252	281
売上高合計	59,273	52,912
売上原価		
完成工事原価	41,508	37,891
レンタル売上原価	8,038	7,357
開発事業売上原価	1,023	165
売上原価合計	50,569	45,414
売上総利益		
完成工事総利益	6,936	5,299
レンタル総利益	1,538	2,081
開発事業総利益	229	116
売上総利益合計	8,703	7,497
販売費及び一般管理費	7,452	7,462
営業利益	1,251	34
営業外収益		
受取利息	17	15
受取配当金	259	203
賃貸不動産収入	28	24
仕入割引	16	14
助成金収入	—	183
その他	181	172
営業外収益合計	504	613
営業外費用		
支払利息	176	135
賃貸不動産原価	10	12
シンジケートローン手数料	4	33
和解金	27	80
その他	91	61
営業外費用合計	311	321
経常利益	1,443	326



(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
特別利益		
固定資産売却益	28	737
その他	18	1
特別利益合計	46	739
特別損失		
固定資産売却損	17	33
固定資産除却損	7	29
減損損失	168	—
事業整理損	125	—
その他	2	—
特別損失合計	320	63
税金等調整前四半期純利益	1,169	1,002
法人税等	705	△72
四半期純利益	464	1,074
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	42	△0
親会社株主に帰属する四半期純利益	421	1,074

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
四半期純利益	464	1,074
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,274	1,167
為替換算調整勘定	△59	49
退職給付に係る調整額	5	10
その他の包括利益合計	1,220	1,227
四半期包括利益	1,684	2,301
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,682	2,302
非支配株主に係る四半期包括利益	2	△0

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用の計算については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント					
	システム建築	総合建設	立体駐車場	開発	ファシリティ マネジメント	合計
売上高						
外部顧客への売上高	30,489	13,950	12,486	1,252	1,094	59,273
セグメント間の内部 売上高又は振替高	29	167	31	63	231	524
計	30,518	14,118	12,517	1,316	1,326	59,797
セグメント利益又は損 失(△)	2,424	481	792	164	△118	3,743

(単位:百万円)

	調整 (注)1	四半期 連結損益計算書 計上額 (注)2
売上高		
外部顧客への売上高	—	59,273
セグメント間の内部 売上高又は振替高	△524	—
計	△524	59,273
セグメント利益又は損 失(△)	△2,492	1,251

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△2,492百万円は、主に各報告セグメントに配分していない全社費用であり、報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自2020年4月1日至2020年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント					
	システム建築	総合建設	立体駐車場	開発	ファシリティ マネジメント	合計
売上高						
外部顧客への売上高	27,938	13,515	10,437	281	739	52,912
セグメント間の内部 売上高又は振替高	116	—	70	3	196	385
計	28,054	13,515	10,507	285	935	53,297
セグメント利益又は損 失(△)	2,254	265	239	81	△112	2,728

(単位:百万円)

	調整 (注)1	四半期 連結損益計算書 計上額 (注)2
売上高		
外部顧客への売上高	—	52,912
セグメント間の内部 売上高又は振替高	△385	—
計	△385	52,912
セグメント利益又は損 失(△)	△2,694	34

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△2,694百万円は、主に各報告セグメントに配分していない全社費用であり、報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
該当事項はありません。